

呼吸器内科

部長 中岡 大士

診療体制

私と石田正之先生との常勤2名体制に加えて、専攻医として藤原絵理先生、松田莉奈先生を迎えて、4名体制で診療を行っている。非常勤医師として、高松和史先生が外来診療に加わっている。

診療の実際

当科の診療方針はこれまでと変わることなく、感染症・アレルギー・がん・自己免疫性疾患など偏りなく呼吸器領域全般の診療に取り組み、高い専門性とチーム医療を融合させた質の高い診療を目指している。入院患者は他施設で対応困難となりやすい間質性肺炎などのびまん性肺疾患、悪性腫瘍、膿胸、気胸などの胸膜疾患が占めるウエイトが大きくなっている。新型コロナウイルス感染症は5類となり、診療がその影響に左右される程度はやや減少しているといえるものの、依然として重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患の多い者において診療の脅威となり続けている。

呼吸器内科の診療にとどまらず、これまで同様、呼吸管理委員会、感染対策委員会、がん化学療法委員会、医療安全委員会などの委員会活動を通して科の枠を超えて病院全体の診療の質向上に努めている。人工呼吸管理については、診療科を問わず、すべての呼吸器管理患者に適切な陽圧換気および早期離脱を実現するために、呼吸管理チーム（RCT）による呼吸器ラウンドを継続している。

当科が特に力を入れている診療の一つである内視鏡検査について、本年は112件の気管支鏡検査・処置を施行した。難治性気胸に対するEWSを用いた気管支充填術や気道狭窄に対する気管支内ステント留置術もおこなっているが、2025年には適応となる症例はなかった。2022年12月に高知県で初めてとなる凍結生検（クライオバイオプシー）を導入し、2025年は9件実施した。今後もさらに実施と経験を増やすことを目標としている。この他、EBUS-TBNAによる縦隔病変生検、局所麻酔下胸腔鏡による胸膜生検もおこなっている。

2025年に悪性腫瘍の疑いでおこなった気管支鏡検査は69件であった。この全例にROSE（迅速細胞診）を取り入れ、検体の質と量を確認し、正しく診断できた症例は92.8%と高い水準を維持した。また、気管支鏡検体で遺伝子パネル検査に提出した症例のうち、検体の質や量の問題で解析ができなかった割合はゼロとなり病理診断部との充実した連携がもたらした好実績と言える。悪性腫瘍と正診できた64件のうち、約3割にあたる19件において、手術または定位放射線治療による根治的治療をおこなうことができた。

教育・研究

初期研修医のローテーターや専攻医の研修、学生実習を受け入れ、印象に残った症例や教育的な症例があれば、積極的に学会や研究会での報告を行っている。また、看護師の特定行

為研修における呼吸器領域の指導（気管切開チューブ交換、陽圧換気の設定変更など）や、がん化学療法看護の人材教育に関わった。

研究については引き続き長崎大学との肺炎の共同研究を行っており、これまで APSG-J、JPAVE J-PAVE2 study を行ってきたが、現在新たな全国規模の肺炎疫学研究 APSG-J-2 を行っている。引き続き中国・四国呼吸器疾患関連事業包括支援機構（CS-Lung）にも参加し、いくつかの臨床試験に参加している。今後も臨床診療を中心に、教育、学術的な発信を継続していきたいと考えている。

課題

当院に限らず、全国的にも高知県の実状的にも呼吸器内科は絶対的な不足状態にある。呼吸器診療の魅力を伝え、発信を続け、一人でも多くの次世代を担う呼吸器内科医の育成を行う。また我々の診療をサポート、もしくはともに歩んでいくメディカルスタッフの育成も継続していく。

学術発表・講演会等

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
急性膿胸症例における胸水培養採取に際し、血液培養ボトル検体の培養併用の有用性の検討	石田正之 藤原絵理 中岡大士	第 65 回呼吸器学会総会	4 月 11 日 ～13 日 東京
成人市中発症肺炎症例での喀痰検体を用いた multiplex-PCR にて RS ウィルス (RSV) が検出された症例の検討	石田 正之, 中岡 大士, 森本 浩之輔	第 99 回感染症学会総会	5 月 8 日～ 10 日 横 浜
市中発症急性膿胸での, Oral-type pleural infection 症例における臨床微生物学的検討	山中 莉子, 森本 瞳, 中岡 大士, 石田 正之	第 99 回感染症学会総会	5 月 8 日～ 10 日 横 浜
SARS-CoV-2 感染症に肺炎球菌性肺炎、侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) を合併した一症例	宮地博紀 松田莉奈 藤原絵理 中岡大士 石田正之	内科学会四国地方会	5 月 25 日 高知
高アンモニア血症による意識障害をきたした <i>Corynebacterium riegelii</i> による尿路感染症の 1 例	松田莉奈 藤原絵理 中岡大士 石田正之	内科学会四国地方会	5 月 25 日 高知
当院の過去 10 年間の侵襲性肺炎球菌感染症症例の検討	石田正之 松田莉奈 藤原絵理 中岡大士	第 39 回高知県感染症研究会	7 月 17 日 高知
SARS-CoV-2 感染症に侵襲性インフルエンザ菌感染症 (IHD) を合併した 2 症例	松田莉奈 藤原絵理 中岡大士 石田正之	第 72 回呼吸器学会中四国地方会 (春)	7 月 25 日 ～7 月 26 日 松山
ウイルス性胃腸炎を契機としたと考えられる <i>Parabacteroides distasonis</i> (<i>P. distasonis</i>) による敗血症性肺塞栓症の一例	山田真生 松田莉奈 藤原絵理 中岡大士 石田正之	第 72 回呼吸器学会中四国地方会 (春)	7 月 25 日 ～7 月 26 日 松山
肺炎症例における、喀痰検体を用いた、multiplex-PCR をもちいた呼吸器ウィルスの検討	石田正之 松田莉奈 藤原絵理 中岡大士 森本浩之輔	第 72 回呼吸器学会中四国地方会 (春)	7 月 25 日 ～7 月 26 日 松山
当院におけるクライオバイオプシーの使用経験	藤原絵理 松田莉奈 中岡大士 石田正之	高知県医師会医学会	8 月 16 日 高知
当院における <i>Parvimonas micra</i> 感染症症例の検討	石田正之 松田莉奈 中岡大士	感染症学会西日本地方会	11 月 28 日 ～30 日 福岡

当院での侵襲性肺炎球菌感染症症例の検討-10年間の解析	中川陽貴 松田莉奈 中岡大士 石田正之	感染症学会西日本地方会	11月28日 ～30日 福岡
デュピルマブ投与初期に好酸球性肺炎を発症した重症喘息の1例	山田真生 松田莉奈 藤原絵理 中岡大士 石田正之	第73回呼吸器学会中四国地方会（秋）	12月20日 ～21日 米子
女性の急性膿胸に対する臨床的検討	石田正之 松田莉奈 藤原絵理 中岡大士	第73回呼吸器学会中四国地方会（秋）	12月20日 ～21日 米子

講演

演題	発表者 共同研究者	講演会名など	開催
実践—臨床医による肺炎球菌感染症予防の取り組み	石田正之	成人肺炎球菌感染症予防に関する座談会	5月17日 高知
風邪に抗菌薬！必要ですか？	石田正之	薬剤耐性（AMR）対策セミナー 県民公開講座	8月24日 高知
成人肺炎球菌感染症における、ワクチンの位置づけ	石田正之	肺炎球菌ワクチンセミナー in 四国	11月19日 高知
高齢者の肺炎球菌感染症・肺炎予防におけるワクチンの意義	石田正之	肺炎球菌ワクチン WEB セミナー	12月10日 高知

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Serotype distribution among adults with community-acquired pneumococcal pneumonia in Japan between 2019 and 2022: A multicenter observational study.	Maeda H, Ito I, Sando E, Hamao N, Shirata M, Dhouhadel BG, Ntiamoah DO, Oi I, Nishioka K, Fujii H, Okamura K, Inoue T, Yamada T, Niibayashi S, Tsukino M, Fujii Y, Tsuchiya M, Nakahara Y, Hasegawa Y, Nakagawa A, Sugita T, Ito A, Sakai N, Kaji Y, Toyoda Y, Urata T, Asoh N, Nishiyama A, Yagiuchi A, Morikawa T, Ushiki A, Ishida M, Morimoto K.	Hum Vaccin Immunother.	2025 Dec;21(1):2518847.